

第6編 社会教育

第1章 社会教育の推進

第1節 概 況

新しい時代の要請に応え、多様な教育機関の連携・協力により様々な学習機会を提供するとともに、家庭教育支援施策の充実、少子高齢社会を見据えた学習機会の充実と社会参加の促進、家庭や地域社会における教育力の充実などを一層推進し、生涯学習社会の構築に向けた社会教育の推進に努めた。

1 社会教育委員会議

当会議は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、社会教育法に基づき設置されており、学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者、学識経験者10名で構成されている。

平成29年度は、定例会を9月12日、臨時会を2月20日に開催し、「家庭教育支援施策」等について意見を伺った。

第2章 成人教育の拡充

第1節 成人教育

1 ぐんま県民カレッジ

「ぐんま県民カレッジ」では、県教育委員会が提供する各種講座を主催講座、市町村や高校・大学、博物館等施設など連携機関が提供する講座を連携講座と位置づけている。

本年度は次の講座を主催講座として実施した。

(1) ぐんま県民カレッジ「オープンキャンパス」大学等出前講座

会 場	講 座 名	受講者数
中部教育事務所 (玉村町文化センター)	わくわく子育て講座 ～小中学生をイキイキさせる子育てのつぼ～	延べ 76人
西部教育事務所 (高崎市民活動センターソシアス)	「いざという時どうする?! -みんなで学ぶ 家族を守るためのあんしん講座-	52
吾妻教育事務所 (中之条合同庁舎)	あがつまの魅力と活用を考える講座Ⅱ	43
利根教育事務所 (利根沼田振興局)	60歳からの生き方設計! ～定年はゴールではなくスタート～	116
東部教育事務所 (太田合同庁舎会議用庁舎)	「心と体の健康」を考える ～「食」「ふれあい」「運動」を通して～	60

(2) ぐんま県民カレッジ「地域の学校開放講座」

開設学校名	講 座 名	受講者数
伊勢崎工業高校	伊勢崎工業高校ものづくり体験教室 東雲夢工房	7人
新田 暁 高 校	パソコン教室	3
	親子でアイシングクッキーづくり	17
太田工業高校	こどもの国ロボット教室	20
	太工クッキング工房	23
尾 瀬 高 校	地球の自然と親しもう	28

利根実業高校	小中学生夏休み利根実業おもしろ体験講座	38
渋川青翠高校	画像編集ソフトを用いたオリジナル下敷き制作講座	4
藤岡北高校	こどもたちのためのやさしい農業教室	4
安中総合学園高校	初級パソコン教室①（ビジネス文書編） 初級パソコン教室②（画像処理編）	6
吉井高校	陶芸教室	10
盲学校	盲学校の学習・視覚障害者に対する理解と援助	18
聾学校	ハートでコミュニケーション～ろう学校へようこそ～	21
前橋高等特別支援学校	ふれあい講座 生徒との交流を通して	21
二葉高等特別支援学校	ふたばいきいき体験講座 ～もっと知ってほしい ふたばのこと、肢体不自由のこと～	1

2 社会教育における人権教育

県民一人一人が、人権の意義やその重要性についての正しい知識や豊かな人権感覚を身に付けるとともに、真に人々の人権が尊重される地域社会づくりを目指し、群馬県人権教育充実指針に基づき、啓発や学習機会の提供、指導者の養成を図り、各種事業を実施した。

(1) 集会所等における人権教育推進事業

補助金 3,695千円 実施数 64か所 15市町村

(2) 人権教育指導者養成講座事業

委託費 1市町村あたり80千円 委託数 5市町村

(3) 人権教育指導者研修会

人権教育推進の中核となる指導者の資質向上のための研修として、各教育事務所の主管による人権教育指導者研修会を実施した。

第2節 家庭教育支援

家庭教育を社会全体で応援し、各家庭が主体的に家庭教育に取り組むため諸事業を実施し、家庭教育の充実・振興を図った。

1 ワクわく子育てトークキング～ぐんまの親の学びプログラム～普及啓発

- ・平成28年度に作成した「ぐんまの親の学びプログラム」を活用した講座を「ワクワク子育てトークキング」として、県社会教育主事がファシリテーターとなり、要請のあった県内の学校、公民館等で実施した。(51回、受講者2,393人)
- ・各地で実施した結果、明らかとなった課題等を生涯学習センターで集約検討し、随時プログラムを改善、追加した。(新たに8つの展開例を追加：全29展開例)
- ・多くの機会に実施できるよう、プログラムを冊子として市町村教育委員会に配布するとともに、県及び生涯学習センターのホームページ上で公開した。
- ・ファシリテーター養成講座を実施した。(受講者：28人)

2 ぐんまの家庭教育応援フォーラムの開催

家庭教育支援実践者による講演や現在地域で活動している家庭教育支援チームの取組などを参考に、関係者が家庭教育支援への具体的な取組について考え、実際に活動するための契機とした。(11月1日開催 参加者111人)

3 職場内家庭教育研修講師派遣

「群馬県いきいきGカンパニー(所管：労働政策課)」認証企業における職場内家庭教育研修会に、県社会教育主事の講師を派遣した。(派遣数1件)

4 家庭教育支援チーム

市町村と連携し、こどもの居場所づくりや体験活動に取り組む既存の団体等に対して「家庭教育支援チーム」の結成について研修会等で働きかけた。

文部科学省認定 家庭教育支援チーム登録数 平成29年度新規登録4チーム(計5チーム)

5 「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰(今年度新規、隔年実施予定)

- ・榛東村家庭教育支援チーム

6 地区別家庭教育支援連携会議の実施

保護者、祖父母世代、学校、地域活動団体、事業者等の関係者が、家庭教育の重要性を再認識するとともに、各地区における家庭教育支援の体制を整備し各団体等の連携した取組を推進するため、教育事務所単位で会議を実施した。(各教育事務所合計8回実施 参加者延べ550人)

7 家庭教育電話相談事業

乳幼児から高校生くらいまでの子どもを持つ保護者等を対象に、育児やしつけ、健康など家庭教育上生ずるいろいろな悩みや相談者自身の悩みなどについて、電話による相談に応じた。

相談員 22人

相談日時 火～土曜日(10時30分～12時30分、13時30分～15時30分、16時30分～18時30分)

相談件数 1,601件

第3節 学校・家庭・地域の連携

1 放課後子ども教室

全ての子どもたちが放課後を安全・安心に過ごせるよう、地域の方々の協力を得て、学校の余裕教室などを活用した多様な体験活動等(学習機会の提供、スポーツや文化活動、地域住民との交流活動)の機会の提供を推進した。

実施：18市町村(47教室)

内訳：伊勢崎市、沼田市、渋川市、榛東村、下仁田町、甘楽町、中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、東吾妻町、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町、明和町、大泉町

2 学校支援センター推進事業

各教育事務所において、学校支援センターの一層の充実と活性化に向け、ボランティア活動を調整するコーディネーター等の養成や資質向上等を図るための研修会等を実施した。

主管事務所	実施日	参加者数(人)
中部教育事務所	7月26日	144
西部教育事務所	10月12日	134
吾妻教育事務所	5月18日	47
利根教育事務所	8月8日	60
東部教育事務所	7月5日	143

3 地域学校協働活動（地域学校協働本部）

学びによるまちづくりや、地域課題解決型学習、地域人材育成、郷土学習、地域行事への参加、ボランティア・体験活動、学校周辺環境整備などの取組を、地域と学校が連携・協働して行う活動を推進した。

実施：4市町村（7本部）

内訳：沼田市、下仁田、中之条町、片品村

4 地域と学校のパートナーシップ推進事業

各教育事務所において、子どもたちの地域と学校の連携・協働を促進するための講演会等を開催するとともに、社会教育主事による学校訪問等を実施した。

(1) 地域と学校のパートナーシップ推進フォーラム

主管事務所	実施日	参加人数(人)
中部教育事務所	9月2日	141
西部教育事務所	10月12日	134
吾妻教育事務所	10月6日	194
利根教育事務所	10月6日	152
東部教育事務所	12月7日	78

(2) 社会教育主事の学校訪問

中部教育事務所18回、西部教育事務所65回、吾妻教育事務所52回、利根教育事務所18回、東部教育事務所12回(計165回)

5 外部人材を活用した土曜日の教育支援活動

民間企業・団体等を中心として多様な経験や技能を持つ外部人材等の参画により、特色・魅力のある教育プログラムを企画・実施する活動を推進した。

実施：10市町村（15箇所）

内訳：桐生市、上野村、神流町、下仁田町、嬭恋村、高山村、川場村、昭和村、板倉町、千代田町

6 地域未来塾

学習が遅れがちな中学生等に対し、地域と学校の連携・協働による学習支援を行う活動を推進した。

実施：2村（2教室）

内訳：高山村、昭和村

7 地域における家庭教育支援総合推進事業

地域人材の養成や家庭教育支援チームの組織化等を行い、身近な地域における保護者への学習機会の提供や親子参加型行事等を実施することで、家庭教育支援を総合的に推進する活動を推進した。

実施：1村（1箇所）

内訳：榛東村

第3章 指導者の発掘・養成と活動の促進

第1節 社会教育行政職員の研修の充実等

1 社会教育行政職員研修

- | | |
|-----------------------|------|
| (1) 県社会教育主事等研修会 | 64人 |
| (2) 地区別社会教育主事等研修講座 | 422人 |
| (3) 図書館司書実務研修 | 209人 |
| (4) 社会教育推進セミナー | 162人 |
| (5) 市町村職員のための社会教育実践研修 | 31人 |

2 社会教育指導者研修

新任社会教育委員研修会 134人

3 視聴覚教育指導者養成研修

教育メディア指導者養成講座 修了者 2人

4 市町村の社会教育指導者の確保等

市町村における社会教育の充実を図るため、社会教育主事の養成・確保に努めるとともに、社会教育主事派遣事業を実施した。

(1) 派遣事業

社会教育主事特別派遣 6町村6人

(2) 社会教育主事養成事業

社会教育主事講習（国立教育政策研究所社会教育実践研究センター）

講習期間及び受講者数

- | | |
|---------------|-----|
| ア 7月21日～8月25日 | 6人 |
| イ 1月22日～2月28日 | 10人 |

第4章 教育メディアの整備と効果的活用

第1節 教育メディアの整備

1 視聴覚ライブラリーの充実と利用

年1回、資料選定委員会を開催し、視聴覚資料の選定に関する協議を行い、選定された資料を県視聴覚センターに収集している。29年度は、家庭教育、人権、安全分野の5作品を購入した。

利用件数

種 別		件 数
視聴覚教材	ビデオ	688
	CD	289
	DVD・BD	2,007
	16ミリ映画	47
	その他	14
計		3,045
視聴覚機器	液晶ビデオプロジェクター	169
	スクリーン	79
	16ミリ映写機	24
	ノートパソコン	50
	その他	203
視聴覚教材ダビングサービス		501
計		1,026

2 情報教育指導者養成

学校や公民館等社会教育施設における教職員を対象とした情報教育を推進するため、「教育メディア指導者養成講座」を開催した。

第2節 教育メディアの効果的活用

1 教育テレビ番組「はばたけ！ぐんまの子どもたち」

子どもたちを取り巻く課題や、現場での取組の現状を幅広く紹介することで、教育行政への理解を深め、新たな支援活動に取り組むきっかけ作りとなることを狙いとして、教育番組を制作・放送した。

放送日	タイトル	放送日	タイトル
平成29年7月1日	魅力ある学校づくりとは	11月18日	共に生きている、生きて行く ～特別支援学校の子どもたち 2～
7月8日	「職業を学ぶ」専門高校の 今！	11月25日	熱闘！科学の甲子園ジュニア
7月15日	子どもの「学び」を支援！ 学校で活用広がる出前授業	12月2日	エンジョイスports！いつで も、どこでも、いつまでも…
7月22日	子どもたちの放課後対策	12月9日	地域を潤せ！商業を学ぶ高校 生の挑戦
7月29日	H28「みんなの時間」特別 編再放送①（群馬交響楽団）	12月16日	学ぶための環境づくり～特別 支援学校の子どもたち3～
8月5日	個性を生かせ！高校文化部	12月23日	未来に活かす歴史からの学び
8月12日	考える力を育む！新たな学 びのカタチ	12月30日	H28「みんなの時間」特別編 再放送③（家庭教育）
8月19日	あきらめないで！仕事と子 育て	平成30年1月6日	食は生きる力
8月26日	H28「みんなの時間」特別 編再放送②（甲を着た古墳 人）	1月13日	考えよう！わたしの将来、み んなの未来
9月2日	地域と共に！中学校の特色 ある部活動	1月20日	みんなで楽しく体力向上
9月9日	めざせ！未来の科学者	1月27日	目指せ！パラリンピック～特別 支援学校の子どもたち4～
9月16日	「働く」を目指して～特別 支援学校の子どもたち～	2月3日	学校図書館が楽しい！
9月23日	体験活動と青少年の健全育 成	2月10日	誇ろう！郷土のかるた文化
9月30日	明るい介護の未来へ	2月17日	学びを発展 その先に
10月7日	群馬の幼児教育	2月24日	群馬イノベーションアワード …高校生の挑戦
10月14日	育てよう！自然を愛するこ ころ	3月3日	自分たちで切り拓け！キャリ ア教育
10月21日	みんなで考えよう「いじめ 問題」	3月10日	Let's enjoy English!
10月28日	みんなで支えよう！地域の 子ども	3月17日	私たちはこう考える！群馬県 青少年育成大会
11月4日	上野三碑が語るもの	3月24日	駆け抜ける！工業高校生の電 気自動車
11月11日	掘りおこせ！ぐんまの歴史	3月31日	みんなが主役！高校総文

第5章 社会教育関係団体の育成

社会教育関係団体の社会的、公共的意義は極めて大きく、社会教育推進の原動力として果たす役割も大きい。しかし、一般的に、社会教育関係団体は財源基盤が弱いため、その自主性を尊重しながら、財政支援を行った。

第1節 補助育成団体

団 体 名	補助金額	団 体 名	補助金額
群馬県公民館連合会	70千円	群馬県特別支援学校PTA協議会	100千円
群馬県PTA連合会	150	群馬県国公立幼稚園・こども園PTA	90
群馬県高等学校PTA連合会	90	連絡協議会	
群馬県ユネスコ連絡協議会	80	群馬県視聴覚ライブラリー連絡協議会	50
日本ボーイスカウト群馬県連盟	230	(公社) 群馬県子ども会育成連合会	900
群馬県社会教育委員連絡協議会	90	(一社) ガールスカウト群馬県連盟	170

第2節 PTA活動

社会の変化に主体的に対応できる能力を養い、たくましく思いやりの心に満ちた児童・生徒の育成をめざして、家庭、学校、地域を結ぶPTA活動の活性化に努めた。

団 体 名	単位PTA数	事 務 局
県国公立幼稚園・こども園PTA 連絡協議会	74団体	東吾妻町立坂上幼稚園内 0279-69-3515
県PTA連合会	469団体	県生涯学習センター内 027-224-2816
県高等学校PTA連合会	83団体	県生涯学習センター内 027-223-3173
県特別支援学校PTA協議会	26団体	群馬県立盲学校内 027-224-7890
計	652団体	

1 PTA指導者研修会

PTA活動の充実発展と指導者の資質の向上を図るため、幼・小・中・特別支援学校に関しては、教育事務所毎に地区別指導者研修会を実施した。

2 PTA表彰

児童・生徒の健全な成長をめざして会員が協力し、顕著な業績をあげているPTAに対し、その功労に報いるとともに、PTA活動の今後の発展に資するため、次の団体を表彰した。

(1) 県教育委員会表彰

川場村立川場幼稚園PTA
 桐生市立相生幼稚園PTA
 群馬大学教育学部附属小学校PTA
 玉村町立南小学校PTA
 高崎市立浜尻小学校PTA
 富岡市立一ノ宮小学校PTA
 沼田市立沼田小学校PTA
 館林市立第九小学校PTA
 吉岡町立吉岡中学校PTA
 長野原町立東中学校PTA
 前橋市立前橋特別支援学校PTA

群馬県立伊勢崎商業高等学校 P T A
 群馬県立高崎高等学校 P T A
 利根沼田学校組合立利根商業高等学校 P T A

- (2) 文部科学大臣表彰
 沼田市立薄根小学校 P T A
 館林市立杉並幼稚園 P T A
 東吾妻町立原町小学校 P T A

第6章 社会教育施設の整備充実

第1節 市町村社会教育施設の整備

1 市町村社会教育施設の整備

(1) 公民館

ア 公民館整備状況（平成29年度末）

		市	町	村	計
設置状況	設置者数	12	13	6	31
	設置率（％）	100.0	86.7	75.0	88.6
	公民館数	169	28	10	207

イ 優良公民館表彰

- (7) 県教育委員会表彰
 前橋市富士見公民館
 高崎市六郷公民館
 桐生市立黒保根公民館
 館林市中部公民館
- (イ) 文部科学大臣表彰
 高崎市東公民館
 渋川市子持公民館

ア 図書館の整備状況（平成29年度末）

		市	町	村	計
設置状況	設置者数	12	10	1	23
	設置率（％）	100.0	66.7	12.5	65.7
	図書館数	44	10	1	55

（注）公立図書館としては、他に県立図書館1館がある。

イ 優良図書館表彰

- (7) 県教育委員会表彰
 千代田町立山屋記念図書館
- (イ) 文部科学大臣表彰
 吉岡町立図書館